

各種スモークマシンの送り方

酸京クラウド

2019/2/20

前提

以降、宅配委託時（輸送中）にエアが混入せざるを得ない事を前提で考える。

ボトルの状態

液はボトルから完全に抜くこと。ホースは空ボトルにセットされている状態でOK。

液種の明記

こちらのスモーク液で点検・修理を進めるので、本体空ボトルに使用液種を明記して下さい。もしくは説明の同封をお願いします。

本体全体をビニール等で覆うことは禁止

到着の時点で、内部にて想定外の液漏れが発生していた場合、電源基板部分に液が廻ることが考えられ、知らずに通電すると基盤損傷がそこで起きうるため。

その他お願い

ボトルとホースの接続部の劣化が発煙に影響している場合もありますので、可能な限り運用中の状態を維持してご発送ください。

やむを得ずボトルなしで送る場合

ホース先端をビニールもしくはラップで覆い、ウエスをし、さらにビニール袋をかぶせて封をしてください。

機種別説明（予告なく改定・改変される可能性があります）

G3000

太いホースの為、エアが一旦入ってしまうと大変に抜けにくい。おまけにポンプを2つ積んでいるが故の不具合も目立つ（DIFF エラー等）。日本仕様の100Vポンプに改造済みであれば、現場にてFull発煙の操作でエアが抜けることもある。

注) 特に G3000 は不用意に中を開けられますと、ネジ山を簡単に破損します。場合によっては本体ごと買い替えになる場合がありますので、中を開けることを特に禁止します。

ViperNT、PowerTiny

強めの発煙でエアは抜けて行くと思います。

Unique2.1

ポンプが弱い為、ホース内エアは Full 発煙かつホースを指で弾きながら気泡を送る方法でしか抜けない。

TinyFX、TinyS

ポンプが弱い為、フルードリザーバー（注射器）脱着時に混入したエアが抜けるのに時間がかかる場合があります。フルードリザーバー（注射器）は原則本体から抜かずに保管、運搬してください。容易に異物が混入し、本体内部フィルターが目詰まりしてしまう恐れがあります。

AtmosphereAPS

タンクがほぼ密閉されているので、長時間逆さまにならない限り、液少なめであれば問題ないと思われる。

ここに至った背景

宅急便にて送る際のボトルの残り液量を、ホース先端が浸る程度（内容量 20%程度を推奨）で送ることで、想定される運搬条件において、まずオイルまみれになることは無いと判断し、運用。しかし、

2018年6月 福岡の劇場→酸京へ G3000 宅急便時、オイルまみれで到着

2019年2月 酸京→札幌の劇場へ G3000 宅急便時、オイルまみれで到着

という、どちらからの宅急便使用時にも運搬不具合が発生。それによりこの度、エアが混入せざるを得ない事を前提に、運用方法を改定する。

以上